

南魚沼市監査委員告示第 3 号

監 査 結 果 の 公 表

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定による監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を別紙のとおり公表する。

平成26年6月25日

南魚沼市監査委員 河野和男

南魚沼市監査委員 中澤一博

南魚監 第 35 号  
平成26年6月25日

南 魚 沼 市 長 井 口 一 郎 様  
南 魚 沼 市 議 会 議 長 関 常 幸 様

南魚沼市監査委員 河 野 和 男

南魚沼市監査委員 中 澤 一 博

### 定期監査及び行政監査の結果に関する報告について（その1）（提出）

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 監査の対象

平成25年度における財務事務の執行状況及び施設、園児の安全管理並びに運営状況全般

#### 2 監査の実施期間及び対象箇所

平成26年6月2日から平成26年6月6日まで

実 施 日	監 査 対 象
平成26年6月2日	八幡保育園 西五十沢保育園 あおば保育園
6月4日	宮保育園 四十日保育園 五日町保育園
6月6日	上原保育園

#### 3 監査の方法

各保育園に赴き、あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、園長等から説明を受け、その後質疑応答を行い、園内巡回し施設の管理状況を確認するとともに、関係諸帳簿及び書類の抽出による調査等の方法により実施した。

#### 4 監査の主眼

今回は、以下の点を主眼に監査を実施した。

- (1) 予算の執行は計画的、効率的に行われているか
- (2) 施設及び園児の安全管理は適正に行われているか
- (3) 運営は適正に行われているか

## 5 監査の結果

予算の執行及び事務処理等はおおむね適正に行われており、施設等の管理についてもおおむね適切に実施されているものと認められた。

監査委員としての所感は以下のとおりである。

### (1) 保育の状況

市の保育の目標は、「なかよく・げんきに・のびのびと」である。これを具体的に実施すべく、いずれの保育園も園の立地環境を考慮し、具体的な目標を設定して保育に取り組んでいた。曰く、「よく遊ぶ」「絵本の読み聞かせ」「地域や保護者のニーズに応える」「子育ての拠り所となる」「家庭・地域・保育園の協力」「よりそい励ます」「保護者が安心して預けられる保育園」「園児、保護者の一人ひとりに寄り添い認め、保育士も一緒に成長する」等である。

いずれの保育園も障がい児保育に取り組んでいる。また一方では、境界領域の困り感をもった子どもの対応に苦慮していた。市では、数年前からユニバーサルデザイン事業に取り組み支援活動を強化してきた。その成果が徐々に現れているように思える。保育士の心配事を、ユニバーサルデザイン支援チームや保健師がしっかり受けとめ、適宜適切なアドバイスがなされていると思われた。その子にとっても、保護者にとっても大きな問題である。早期発見—早期介入が重要といわれるが、保護者への正しい情報提供と周りの理解、何よりも継続的で一貫した支援が重要であると感じた。

いずれの保育園も除去食の提供がなされている。献立と食材を、朝のミーティング時、検食時、給食時の3回確認し、トレイ、食器の色を別にして提供していた。

いずれの保育園も保険対応の事故が散見される。大きな事故にいたっていないが、安全には充分意を用いていただきたい。ただ、五日町保育園では過去三年間、保険対応の事故がゼロであった。当該園では、朝登園してくると、ラジオ体操やダンスを行っており、近年では、病気で休みやインフルエンザでの閉園もないとのことである。

### (2) 保護者との関係

いずれの保育園でも、保護者との信頼関係を築くべく努力している。「園だより」や「クラスだより」の発行、保育室の入り口にホワイトボードでミニコメント、玄関には、今日の給食を展示、行事写真の掲示、送迎時の連絡、個人面談等いろいろなチャンネルを通して情報提供と保護者との対話に努めていた。

いずれの保育園でも未満児の入園率が3割前後を占めている。父母も、祖父母も勤めており、母親の就労希望も強く、途中入園も多いとのことである。各保育園の状況をみると、6か月児から受入れ、開園時間が7時30分から19時までの保育園は、定員充足率が高く、1歳から受入れ、開園時間が7時30分から18時までの保育園は、定員充足率が低い傾向がみられるなど入園者数に偏りがみられた。

祖父母の保育へのかかわり具合を聞き取ったところ、いずれの保育園でも、三世帯同居をしているものの「保育資源としての祖父母の力」は弱いと感じられた。祖父母も60歳前でまだ若く、勤めており、父母との価値観も異なり、「子育ては父母

が中心」となっていた。その父母も勤めがあり、とにかく忙しく、子育ても容易じゃないなという印象を受けた。

### (3) 施設の管理状況

施設の修繕は適宜適切になされていた。ただし、いくつかの保育園では、西日が強く、その対策を考慮する必要があると感じた。

賄材料の納品書を監査したところ、不良品のため返品している事例が散見される。地元業者からの納入であるが、食の安全を図ることは基本中の基本である。業者に新鮮で良い食材を納入するよう注意を促していただきたい。

### (4) 小学校との連携

いずれの保育園でも保小連絡会を組織し、連携している。保育所保育要録を作成し、小学校に送付しているとのこと。子どもは地域の宝である。切れ目のない育成、支援を望むものである。